

第40期 期末報告書

2011年4月1日から
2012年3月31日まで

～千葉県茂原市の「レイクウッズガーデン-ひめはるの里-」のご案内です～

ゴールデンウィークイベント

4月28日～5月6日まで、レイクウッズガーデンひめはるの里では、ゴールデンウィークイベント「オーストラリアン・ラブラドルフェア」を開催しました。

期間中はお天気に恵まれない日もあったものの、多くのお客様にご来場いただき、大盛況でした。



レイクウッズガーデンには、オーストラリアン・ラブラドル犬をはじめ、珍しい犬からおなじみの犬までさまざまな種類の犬が生活しています。



ワンちゃんたちと園内をお散歩できる、「お散歩ワンちゃん」サービスを実施していますので、ぜひお越しください。



四季折々の花々

ハイブリッドティーローズの古花・名花を中心に、バラの種類と歴史をお楽しみいただけるほか、ジャーマンアイリス、桜、あじさい、千葉県で発掘された古代のハスの実から発芽・開花した大賀ハスなどの四季折々の花々をお楽しみいただけます。



花の見ごろ 5月上旬～6月上旬
および10月上旬～11月下旬



花の見ごろ 5月上旬～5月中旬



花の見ごろ 5月下旬～6月下旬



花の見ごろ 7月下旬～8月下旬

やさしさを、
私たちの
強さにしたい。



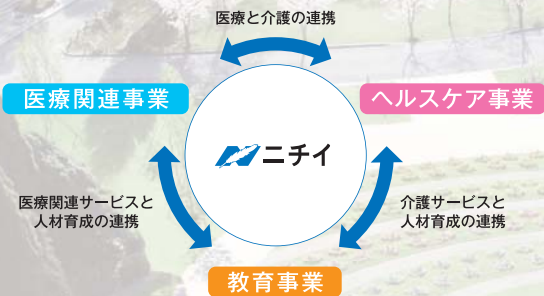
【社是】

誠意・誇り・情熱

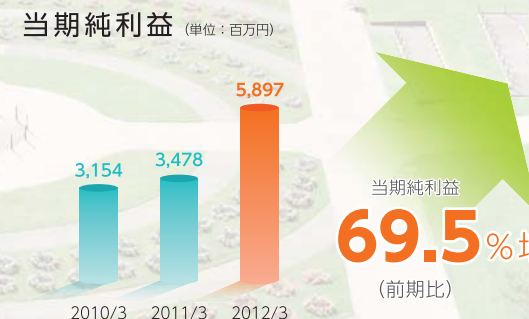
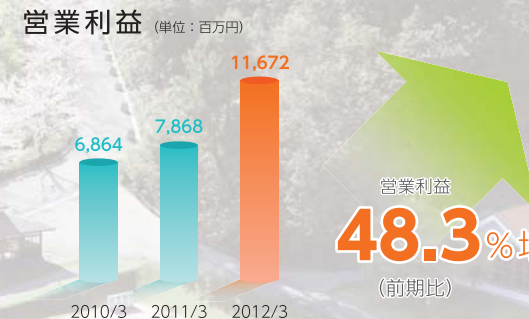
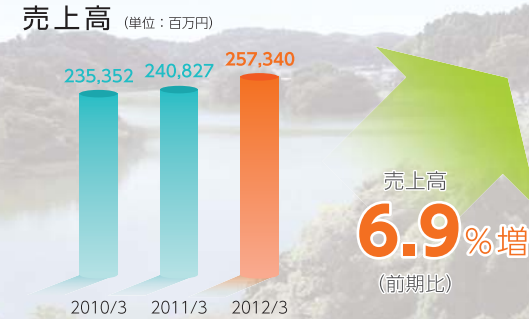
【経営理念】

私たちは誠意を以て社会参加の信条とし、
社業の社会的使命を弁え、誇りをもって行動し、
若々しい情熱で限りない未来への可能性に挑戦します。
そして、社業の発展を通して
豊かな人間生活の向上に貢献します。

「教育から就業まで」というビジネスモデルのもと、
医療関連・ヘルスケア事業を
幅広く展開し、サービスを担うスタッフを
教育事業で育成。
各事業のシナジーを活かし、
サービス範囲をさらに拡大し、
企業価値を向上させてまいります。



連結業績ハイライト



レイクウッズガーデン ひめはるの里

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第40期(2011年4月1日~2012年3月31日)のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

現在、わが国では、社会保障の機能強化と財政の健全化を同時に実現するため、社会保障と税の一体改革が進められており、高齢化がピークに達する2025年に向けた医療・介護サービス提供体制の再構築や、待機児童の解消、女性の社会進出支援等を目指す新たな子ども・子育て支援制度の施行に向けた議論が本格化しております。

ニチイグループにおきましては、2011年4月に発足した新経営執行体制のもと、長期利益の安定成長を実現するため、各事業において、成長性・安定性・収益性の向上を目指した事業領域の拡大と事業体質の変革、社会環境への対応等に取り組んでおります。

基幹事業である教育事業では、株式会社GABA(以下、GABA)の完全子会社化により、グローバル化の進展とともに今後の成長が期待される語学市場への参入を果たし、早期収益化による教育事業の安定化につなげております。

第40期は、増収増益決算を更新し、株主のみなさまへの利益還元として年間配当額16円(2円増配)とし、成長の軌跡をかたちとして示すことができました。

第41期につきましては、語学事業の本格展開に向けた戦略投資の実行により、増収・減益となる見通しですが、今後の過去最高益更新を通過点としたさらなる成長を見込み、4期連続の増配となる年間配当額18円を予定しております。

ニチイグループでは、2012年4月から新たな中期経営計画をスタートし、グループの経営資源を最大限に活かした安定した経営基盤へと再構築することにより、さら

なる成長を実現してまいります。

今後も、みなさまの生活にかかわりの深い分野において、各事業を有機的に結びつけながら、新たな事業領域を開拓することで、継続的な発展を実現し、信頼される企業としての価値を一層向上させてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも、力強いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長

寺田明彦

CONTENTS

- | | |
|--------------|----------------------------|
| P01 会長あいさつ | P10 連結財務諸表 |
| P02 社長インタビュー | P12 株主還元について/株式情報 |
| P05 特集 COCO塾 | P13 会社情報/株主メモ |
| P06 事業別ハイライト | 表紙 レイクウッズガーデン
ひめはるの里ご案内 |
| P08 TOPICS | |

社長が語る 各事業の今後の方針

Q. 2012年3月期の振り返り、決算のポイントについてお聞かせください。

ニチイグループの2012年3月期の連結売上高は257,340百万円、営業利益は11,672百万円、当期純利益は5,897百万円となり、4期連続で過去最高の売上高を更新し、営業利益100億円超えとなる3期連続の増益を果たすことができました。

これは、社会環境の変化に対応した、これまでのM&Aを含むさまざまな経営戦略が奏功した結果であると考えております。

当期の決算上のポイントといたしましては、東日本大震災の業績への影響を、全国ネットワークの強みを活かし、最小限にとどめることができたこと、介護サービス利用者数が順調に増加したこと、医療関連事業、ヘルスケア事業における業務効率の改善が進んだこと等が挙げられます。

また、有料老人ホームを展開する株式会社ニチイケアパレス（以下、ニチイケアパレス）の黒字化達成や、下期に連結決算に組み入れられたGABAの早期収益寄与など、グループ経営力の強化についても、大きなポイントとなっております。

Q. 今後の課題と経営戦略についてお聞かせください。

医療関連事業では、業務効率が改善し安定収益が見込まれるものの、踊り場にある医療事務市場において、いかに成長力を高めていくかが課題であり、ヘルスケア事業では、高い市場成長が見込まれるものの、介護報酬改定等の制度変更リスクを回避し、収益性を高めていくことが課題となっております。

教育事業では、本来、高い利益率を実現できるビジネスでありながら、展開する講座の特性から

雇用環境の変化により収益性が大きく左右され、業績に与えるインパクトも大きいことから、雇用環境等の環境変化に左右されない事業ポートフォリオの構築が急務となっております。

このような課題を解決し、継続的な発展を実現するため、当社グループでは、2013年3月期を起点とする新たな成長戦略をスタートさせております。同戦略はグループ経営資源を最大限に活用し、右記を目標数値に既存事業のさらなる強化とグループ間・各事業間のシナジーを追求できる分野へと事業領域の拡大をすること

で、成長性、安定性、収益性を高め、長期安定成長を目指すものであります。

目標とする経営指標

- 売上高前年対比**2桁成長**
- 売上高営業利益率**7%以上**
- ROE**15%以上**

一事業領域の拡大一

+	医療関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療交流支援、医療・介護連携支援等の経営支援サービスの拡充
♥	ヘルスケア事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい福祉サービスや家事代行サービス等の介護保険制度外サービスの拡充 ● 中国におけるサービス展開
📖	教育事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 長期的な受講ニーズが見込まれる語学事業の拡充 ● 高齢社会の本格化に合わせた高齢者向け講座の拡充
🗨️	保育事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな子育て支援制度「子ども・子育て新システム」の施行に合わせた保育所展開



代表取締役社長
齊藤正俊

Q. 教育事業の収益力の安定化に向けた戦略についてお聞かせください。

当期の教育事業の業績は、資格取得ニーズの低下により厳しい状況となりましたが、語学事業については、受講生数が堅調に増加したことから、収益面での下支えとなり、景気変動リスクの低減に貢献いたしました。

また、語学事業の本格参入は、医療関連事業における国際医療交流支援や、保育事業における幼児向け英会話の導入、ヘルスケア事業と関係の深いシニア向け英会話の展開など、今後の事業展開において、競争優位の源泉として重要な意味を持っております。

そのため、教育事業のさらなる収益安定化と、今後の当事業領域の拡大につなげるべく、二チ

イのグループレッスン英会話「COCO塾」の全国展開を押し進め、各地域において語学事業の基盤構築に努めてまいります。

今後、GABAで培った英会話スクールの運営ノウハウと、既存講座で培った教室運営ノウハウを掛け合わせるとともに、広告展開や各種キャンペーン等のプロモーション実施、全国の支店網を活用した医療法人等の法人向け営業の強化により、新たな市場の開拓に努めてまいります。



代表取締役社長
齊藤正俊

Q. 2013年3月期の業績見通しについてお聞かせください。

2013年3月期は、教育事業における戦略投資の実施に伴い、認知度向上に向けたプロモーションの実施や教室開設等の先行費用の発生により、増収・減益となる見通しです。

しかしながら、既存事業においては、引き続き堅調に推移する見通しであり、語学事業の早期収益化に努めることで、今後、過去最高益を通過点に成長ステージを駆け上がってまいり所存です。

◆ 業績実績と見通し (単位：百万円)

	2012年3月期	2013年3月期 (予想)	増減率
売上高	257,340	274,000	+6.5%
営業利益	11,672	11,400	-2.3%
経常利益	12,674	11,000	-13.2%
当期純利益	5,897	5,800	-1.6%

COCO塾=「Communication Competence (伝達能力)」の頭文字から命名
フレーズの記憶・発語だけではなく、伝達能力を養い、真の国際人としての「対話力」を磨くことを目指した語学スクールです。

COCO塾 コンセプト

「英会話」から「英対話」へ

COCO塾では「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの能力を身につけることで、英語で学び、英語で考え、英語で表現できる「対話力」を養います。

聞く

話す

読む

書く

4つの能力の習得

英対話力

「英語で考え英語で表現する力」の養成

「英対話力」を磨くCOCO塾の特徴

1. 2インストラクター制による手厚いサポート

COCO塾オリジナルの研修プログラムを受けたインストラクター2名によるきめ細やかな指導体制を採用し、充実した学習環境を提供します。

2. 10段階のレベル設定

受講生一人ひとりがレベルに応じた最適なレッスンが受けられるよう、10段階のレベルを設定しています。定期的な学習アドバイスを通して実力を客観視し、レベルアップや上達を実感することができます。

3. 豊富なコース設定

日常英会話コース・ビジネス英会話コース・小学生向け英会話コース・医療関連コースなど、幅広い年齢層・目的に応じた多様なコースを設けています。

4. ニチイグループならではの学習サポート

同じニチイグループの語学スクール「Gabaマンツーマン英会話」との連携やオーストラリアシドニーの語学学校「SELCイングリッシュスクール」への留学支援など、語学習得のためのさまざまな学習サポートを展開しています。



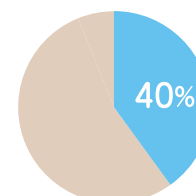


医療機関の経営を
トータルにサポート。



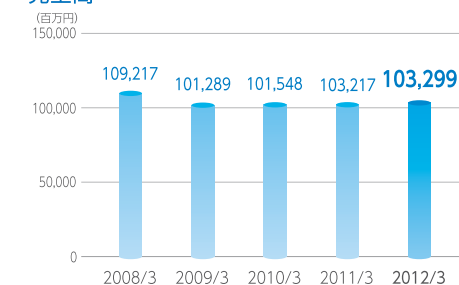
業績・取り組みについて

- 業容の拡大、新規契約病院数の増加により増収
- スタッフへの処遇改善を継続的に進めたことによる、スタッフ定着率・スキルの向上により業務効率が高まり、大幅増益
- 医療機関の包括的なサポートに注力

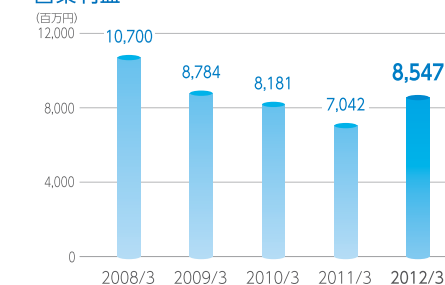


売上高比率

売上高



営業利益

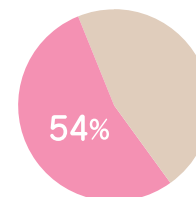


在宅系から居住系介護サービス、介護保険外サービスをトータルに提供。



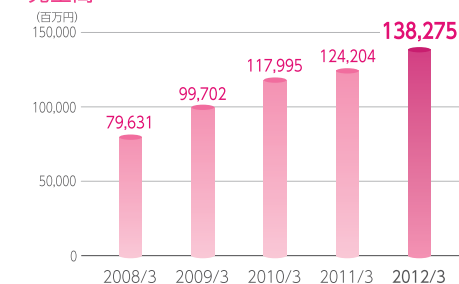
業績・取り組みについて

- 在宅系・居住系介護および介護保険制度外サービスの利用者数が順調に増加
- ニチイケアパレスが通期黒字化を達成
- 株式会社ニチイケアネット（以下、ニチイケアネット）が中国に新会社「日医福利器具貿易（上海）有限公司」を設立

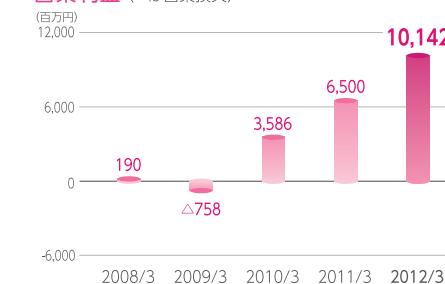


売上高比率

売上高



営業利益 (△は営業損失)

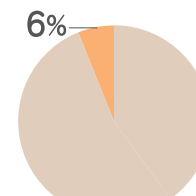


医療・介護分野の優秀な人材の育成、輩出。



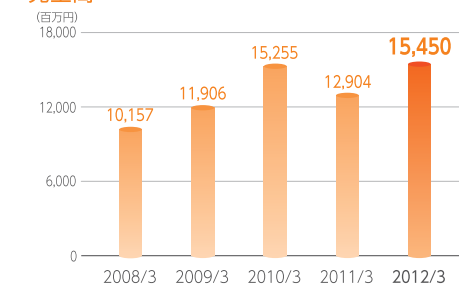
業績・取り組みについて

- GABAの半期分の経営成績が反映されたことにより収益安定化
- 「調剤薬局事務講座」の開発・提供など、「WEBカレッジ」の展開強化
- 職業訓練受託の積極的推進

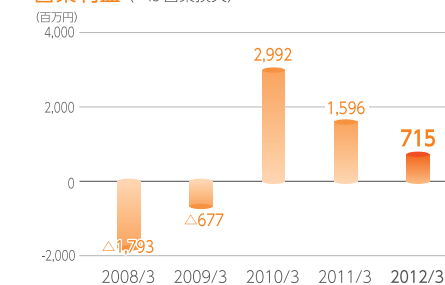


売上高比率

売上高



営業利益 (△は営業損失)



※1 セグメント別売上高につきましては、外部顧客に対する売上高になります。

※2 2011年3月期よりセグメントごとの費用負担額の配賦基準を一部見直しておりますが、

2010年3月期以前の営業利益につきましては、見直し前の金額を記載しております。

介護保険外サービスを拡大しています

ニチイ学館では、介護保険外サービスにも力を入れています。
ここでは介護保険外サービスの3つの展開についてご紹介いたします。

ニチイケアネットが中国に新会社を設立

ニチイケアネットは、中国での急速な高齢化に備えた社会インフラの整備が進められていることに着目し、2012年2月、中国に日医福利器具貿易（上海）有限公司を設立いたしました。福祉用具を扱う常州中進医療器材有限公司の事業を一部譲り受けております。

また、2012年4月にはすでに中国国内にて福祉用具販売を開始している豊田通商株式会社との資本提携に係る基本合意を交わしており、ニチイの介護のノウハウと豊田通商株式会社の物流システムの融合により、中国での福祉用具卸分野でのシェア拡大を目指しています。

ニチイのプライベートブランド商品 新ラインナップ展開中

2010年10月より販売を開始以来、当社介護サービスのお客様をはじめ多くの方々にご利用いただいております。

2011年8月には、待望のテープ止めタイプ「ニチイのやさしく包むテープ止め」と、併用してお使いいただける尿取りパッド「ニチイのしっかり吸収パッド450」を発売、さらに2012年4月には夜間・長時間でも安心してお使いいただける高吸収パッド「ニチイのおやすみパッド1000」を発売いたしました。

また、お客様や介護者からの排泄に関する多様な悩みをお気軽にご相談いただけるよう「ニチイの紙おむつ専用フリー

ダイヤル（0120-062-212（おむつ ニチイに）年中無休8：00～23：00）」を開設いたしました。

今後もさらなるラインナップの充実に加え、「インターネット販売サイト」の開設など、より多くの方に「ニチイの紙おむつ」を利用していただけるよう取り組みを行ってまいります。



障がい福祉サービスの利用者数が1万人を突破

当社は、障害者自立支援法に基づき、2008年より本格的に障がい福祉サービスを開始いたしました。ホームヘルプサービスを中心にサービス展開を行ってきた結果、2012年3月で利用者数が1万人を超えました。現在全国で約950カ所*の拠点、およそ40,000人のスタッフにより、サービス提供を行っています。

ニチイの障がい福祉サービスは、障がいがあっても住み慣れた地域で自分らしく生きたいというお客様の想いを、地域のみなさまと連携して支えています。今後も、より多くの方々に充実した日々を過ごしていただけるよう、サービスの展開を図ってまいります。

*2012年3月末現在。今後も全国で拡大予定。

～地域との**絆**を大切にしています～ 被災地支援や介護体験教室、コンサートなどを開催

●被災地支援●

岩手県の被災地へ訪問入浴車、スタッフを派遣



2011年4月下旬より1カ月間、訪問入浴車とスタッフの派遣を行いました。水や電気等のライフラインが寸断された地域において入浴サービスを提供しました。

岩手県釜石市に高齢者等サポート拠点を開設



2011年8月より、釜石市の仮設住宅地において要介護高齢者、障がい者のみなさまへの生活支援サービス等を包括的に提供しています。

オーストラリアン・ラブラドルを避難所などへ派遣



2011年4～7月、セラピー犬として高い資質を持つオーストラリアン・ラブラドルを被災地の避難所や介護施設へ派遣しました。

●地域支援●

11月11日介護の日

全国の小～高校で介護体験教室を開催



高齢者疑似体験などを通して、子どもたちに介護の大切さを理解してもらうことを目的に、毎年、全国で介護体験教室を開催しています。

リトミック音楽祭を毎年開催



音楽に合わせて無理をしない体の動きで介護予防につながるリトミックの音楽祭を、2011年10月、東京・神奈川で地域のみなさまをお招きして開催しました。2012年にはさらに拡大して全国5カ所で開催予定です。

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	第39期 (2010年4月1日~2011年3月31日)	第40期 (2011年4月1日~2012年3月31日)	増減率
POINT 1 売上高	240,827	257,340	6.9 %
売上原価	193,033	203,513	5.4 %
売上総利益	47,793	53,826	12.6 %
販売費及び一般管理費	39,925	42,154	5.6 %
POINT 2 営業利益	7,868	11,672	48.3 %
経常利益	9,660	12,674	31.2 %
POINT 3 当期純利益	3,478	5,897	69.5 %

POINT 1

売上高

在宅系・居住系介護の各サービス利用者数が順調に増加したことや、ニチイケアパレスの決算期変更、GABAの子会社化、全国ネットワークの強みで東日本大震災による被災地の売上減少を最小限に抑制したことなどが奏功し、4期連続となる過去最高の売上高を更新しました。

POINT 2

営業利益

医療関連とヘルスケアの主力2事業による業務効率のさらなる改善や、ニチイケアパレスの黒字化、GABAの子会社化に伴う半期分の収益寄与などにより、3期連続の増益となりました。

POINT 3

経常利益・当期純利益

長期利益の安定成長に向けて既存事業の強化や新たなサービスの開発・提供に注力し、100億円を超える営業利益を実現した結果、大幅な増益となりました。

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	第39期 (2011年3月31日現在)	第40期 (2012年3月31日現在)	増減額
流動資産	44,163	54,101	9,938
固定資産	81,617	103,714	22,096
流動負債	39,556	48,909	9,353
固定負債	34,024	51,464	17,440
総資産	125,781	157,816	32,035
純資産	52,200	57,442	5,241

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

	第39期 (2010年4月1日~2011年3月31日)	第40期 (2011年4月1日~2012年3月31日)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,795	16,128	6,333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,402	△ 14,217	△ 8,814
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,518	3,077	7,595
現金及び現金同等物の期末残高	3,755	8,741	4,986

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

※詳細は当社ホームページをご覧ください

ニチイ IR

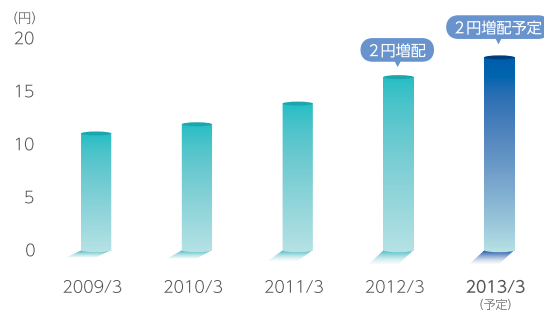
検索

配当について

株主のみなさまへの安定的かつ継続的な利益還元を基本方針とし、中長期的な視野での業績動向を勘案し、連結をベースとした配当政策を策定しています。

2012年3月期の期末配当金については、1株当たり8円の配当とし、年間で16円の配当となりました。

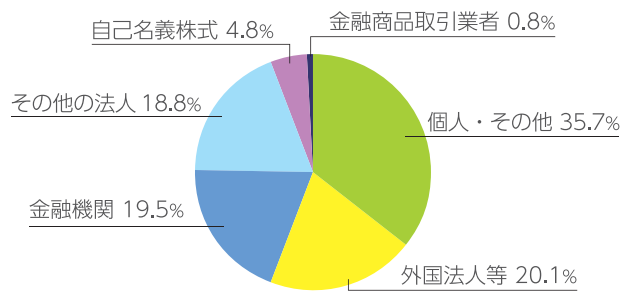
なお、2013年3月期は年間18円の配当(2円増配)を予定しています。



株式の状況 (2012年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	220,000,000株
発行済株式総数	73,017,952株
資本金	11,933,790,500円
株主数	24,920名

所有者別株式の状況 (2012年3月31日現在)



(注) 株式保有比率については、小数点第2位を切り捨てて表示しています。

大株主 (2012年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社明和	12,990	18.7
寺田 明彦	9,582	13.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,591	8.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,862	2.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,607	2.3
ザチーフマンハッタンバンク エヌイロンドンエスエル オムニバスアカウント	1,259	1.8
日本生命保険相互会社	1,243	1.7
ニチイ学館従業員持株会	1,136	1.6
株式会社東京都民銀行	1,010	1.4
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	1,009	1.4

(注1) 持株比率は自己株式(3,574千株)を控除して計算しています。
 (注2) 信託銀行持株数には、信託業務に係るものが含まれています。
 (注3) 持株比率については、小数点第2位を切り捨てて表示しています。

会社概要 (2012年3月31日現在)

商号	株式会社ニチイ学館
所在地	東京都千代田区神田駿河台2丁目9番地 TEL: 03 (3291) 2121 (代表) TEL: 03 (3291) 5637 (広報部 IR課)
設立	1973年8月
従業員数	16,321名(連結) 14,187名(単独)
事務所数	2 営業推進部 10 営業統括部 96 支店 13 営業所 1,232 介護拠点 <small>(※在宅系介護サービスから居住系介護サービスまで、当社介護事業における拠点の物件数を表示しています。)</small>

役員 (2012年6月27日現在)

代表取締役会長	寺田 明彦
代表取締役社長	齊藤 正俊
代表取締役副社長	谷治 一好
専務取締役	森 信介
常務取締役	寺田 剛

取締役	寺田 孝一	常勤監査役	乙丸 秀次
	海瀬 光雄	監査役	大石 豊
	荒井 尚美		大島 秀二
	木原佳代子	執行役員	時枝 優*
	井出 貴子		伊藤 健三
	黒木 悦子		池田千恵子
	辻本 裕昭		平岡 靖宏

*2012年6月30日退任予定

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所(証券コード 9792)
公告方法	電子公告 (http://www.nichigakkan.co.jp/ir/notification.html)

◎お知らせ◎

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-244-479
(三菱UFJ信託銀行本店証券代行部)
通話料無料

0120-684-479
(三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部)
通話料無料

インターネットアドレス▶ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

